

②道の駅ひたちおおた～黄門の郷～整備事業

受賞機関 常陸太田市

全建賞審査委員会の評価ポイント

市の基幹産業である農林畜産業の振興、交流人口拡大の拠点を目的とした道の駅の整備事業。産業振興・交流・防災の複合型交流拠点整備の取組みとして重点道の駅に認定。施設整備にあたっての建設コストの縮減、ライフサイクルコストの縮減、バリアフリー・ユニバーサルデザイン及び省エネルギーの実現と、農産物直売の年間計画やハウストマトの摘み取り体験、道の駅コンシェルジュによる観光案内などの地域活性化への取組みを評価。

1. はじめに

本市では現在、少子化・人口減少対策及び地域産業の振興による活力づくりに総合的に取り組む中、基幹産業である農林畜産業の振興、雇用・就業の場の創出、地域資源を活用した交流人口の拡大、さらに地域の防災拠点としての機能を併せ持つ複合型交流拠点として、「道の駅ひたちおおた」の計画・整備を行った。

当施設は6次産業化に取り組む農業者等が加工品の試作品づくりや研究のできる専門スペースの設置、トマトの摘み取り体験など農業を生かした観光振興の取組みが評価され、平成27年1月に重点「道の駅」として認定された。



施設全景

2. 事業の概要

- 敷地面積：23,969.19㎡
- 建築面積：1,976.1㎡ 鉄骨造平屋建て
- 駐車場：小型200台 大型14台 車イス用3台
おもいやり駐車スペース 8台

施設本体は、イベント広場を中心としたシンボリックで視認性の高いデザインとした。内装材には地元の杉材を利用し、木の温もりを感じられる仕上げとしている。施設の直売所、レストラン部の天井は自然光を取り込め

るハイサイドを採用し、照明等による省エネ化を図っている。また敷地北側に年間を通してトマトの摘み取り体験ができるトマトハウスを整備した。

3. 事業の成果

平成28年7月のオープン以降、年度内の買物客数は当初56万人目標のところ70万人を超え、施設全体の販売売上高も当初目標より4割増と、それぞれ当初目標を上回っており、施設全体が盛況を呈している。道の駅を含めた市内農産物直売所の売上高も前年比3割増となっており、農林畜産業の振興・活性化に成果が得られている。

また、竜神大吊橋や西山荘など観光名所等、市内の観光資源への案内や説明を目的として配置した「道の駅コンシェルジュ」における案内件数が、年度内で約17,000件と、道の駅を起点とした市内観光施設への送客効果も表れており、交流人口の拡大による地域活性化につながっている。



施設内及び摘み取り体験の様子

4. おわりに

道の駅としての機能を十分に発揮し、直売所等で大勢の買い物客が賑わいをみせている当施設は、道路利用者への休憩・いこいの場であるとともに、情報発信元としての期待の高い拠点として整備されている。今後のさらなる農林畜産業の振興と交流人口の拡大に役立つものと考えられる。